

平成 23 年度  
事業報告書

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

学校法人 東京聖徳学園

## I. 学校法人の概要

### 1. 建学の精神

学園創立者の川並香順先生・孝子先生は、昭和8年(1933年)に、聖徳学園を創設するにあたり、より豊かな人間社会を実現するには、人間性と真の意味の学力を備えた「人づくり」が最も重要だと考えられました。それを実現するために、聖徳太子の十七条の憲法に説いてある「和ヲ以テ貴シト為ス」とする中の「和」を建学の理念として定めました。

この「和」の精神によってより豊かな人間社会を実現するためには、時代にふさわしい女性と幼児教育に専念し、実践することにあります。それは具体的には「礼節」「知育」「勤労」を柱とする人間教育にあります。礼節は伝統の本質を高めるものであり「他者への思いやり」であり、知育とは自主的な知識の開発であり、勤労とは事を為すに当たり、協調性などを身につけることにあり、日本人らしい女性を育成することにより、日本の伝統文化を重んじ、「物を大切に作る心」「敬う心」「人との関わり合い」の中に幼児教育、初等教育、中等教育、高等教育への発達段階に応じて、心の成長にあわせた独自の人間教育プログラムで育成します。

それは幼稚園から大学院までの一貫教育で達成することにもなり、将来のよき母親を育成するための教育でもあり、社会で、世界で活躍するための女性らしい心を身につけることにもなります。

創立者川並香順先生は、「本学の女子教育・幼児教育の根本方針は、日日新しく、かつ前向きの教育の姿勢を具現している」と語られましたが、そのためには施設の充実と環境の設備を期し、教育課程の内容を特色ある実質的なものに改善し、教員組織の陣容も最高なものとし、「こころの教育」を進めることによって、社会人となったとき、また家庭人になったときに、はじめて人間教育が結実されます。

### 2. 沿革

明治31年	4月	学園創立者・川並香順先生誕生
大正10年	3月	川並香順先生、真宗大谷大学卒業後ただちに上京し協調会に勤務
大正15年	4月	川並香順先生、日本大学法文学部法律学科本科に入学
昭和6年		協調会の職を辞し、東京市の職員となり社会保護課に勤務
昭和8年	1月	香順先生の長女・泰子が急逝 香順先生・孝子先生は生涯を幼児教育・女子教育に捧げることを決意
昭和8年	4月	聖徳家政学院と新井宿幼稚園を東京市大森区(現大田区)新井宿四丁目に創立
昭和14年	4月	園児の増加にともない、幼稚園校舎を増築
昭和16年	4月	国鉄より電車車両の払い下げを受け、電車園舎により新しい幼児教育を試みる
昭和19年	3月	聖徳学園保姆養成所設立認可
昭和20年	3月	聖徳学園保姆養成所第一回生二十二名を送り出す
昭和20年	4月	校舎・園舎等の一切を空襲で焼失。養成所は港区立西桜小学校の一部を借り受け、授業を継続。新井宿幼稚園は一時休園
昭和22年	2月	学制改革により、聖徳学園高等保育学校と名称を変更
昭和22年	3月	保育部のほかに洋裁部・和裁部を再開
昭和24年	3月	財団法人聖徳学園設立認可。同時に港区芝通新町13(現三田校地)に、新校舎建築に着手
昭和25年	1月	聖徳学園は、西桜小学校から建築半ばの三田校舎に移転
昭和27年10月		聖徳学園高等保育学校は文部大臣指定、東京学芸大学の指導と承認を受ける 新井宿幼稚園は聖徳学園三田幼稚園として再開
昭和33年	4月	聖徳学園高等保育学校は二年制となり、 卒業生は幼稚園教諭二級普通免許状が得られることになる

昭和34年	4月	港区芝二本榎（現高輪二丁目）に高輪寮（290㎡）を新築、三田校舎も増築
昭和39年	2月	聖徳学園歌を定める（作詞サトウハチロー・作曲中田喜直）
昭和39年	5月	千葉県松戸市相模台に校地取得。8月から短期大学校舎新築工事着工
昭和40年	4月	聖徳学園短期大学を開設 聖徳学園高等保育学校は聖徳学園短期大学幼稚園教員養成所と改称
昭和41年	4月	聖徳学園短期大学附属幼稚園を開設
昭和46年	4月	聖徳学園短期大学附属第二幼稚園を開設
昭和47年	1月	短期大学に通信教育部・保育科が認可
昭和49年	4月	聖徳学園八王子中央幼稚園を開設
昭和51年	4月	聖徳学園多摩中央幼稚園を開設 聖徳学園短期大学附属第三幼稚園を開設
昭和56年	5月	聖徳学園シリーズコンサート開始 第一回はアイザック・スターンのバイオリン演奏会開催
昭和58年	4月	聖徳学園短期大学附属中学校・高等学校を開校 聖徳学園短期大学附属聖徳高等学校を開校
昭和59年	4月	聖徳学園短期大学附属聖徳中学校を開校
昭和61年	4月	聖徳学園短期大学附属小学校を開校
平成2年	4月	聖徳大学を開学。聖徳学園短期大学を聖徳大学短期大学部と改称 また聖徳学園短期大学附属教員保母養成所は、 聖徳大学幼児教育専門学校に改称
平成10年	4月	聖徳大学大学院を開設
平成11年	4月	大学院に通信制の修士課程を開設
平成13年	4月	大学に通信教育課程を開設
平成15年	4月	大学院に通信制の博士課程を開設
	11月	教育機関日本初となる全学園でのISO9001、ISO14001を同時認証取得
平成16年	4月	聖徳大学附属浦安幼稚園を開設

### 3. 設置学校等

事業報告書対象年度の5月1日現在の理事長の氏名、設置学校（大学、短期大学、高等学校等）の名称、所在地及び学校長の氏名を紹介する。

学校法人 東京聖徳学園 所在地 東京都港区三田三丁目4番28号 理事長 川並 弘昭
聖徳大学 所在地 千葉県松戸市岩瀬字向山550番地 学長 川並 弘昭
聖徳大学短期大学部 所在地 千葉県松戸市岩瀬字向山550番地 学長 川並 弘昭
聖徳大学幼児教育専門学校 所在地 東京都港区三田三丁目4番28号 校長 川並 光昭
聖徳大学附属女子高等学校 所在地 千葉県松戸市秋山弁天600番地 校長 川並 芳純
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 所在地 茨城県取手市山王1000番地 校長 長野 雅弘
聖徳大学附属女子中学校 所在地 千葉県松戸市秋山弁天600番地 校長 川並 芳純
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校 所在地 茨城県取手市山王1000番地 校長 長野 雅弘
聖徳大学附属小学校 所在地 千葉県松戸市秋山弁天600番地 校長 松山 武士
聖徳大学附属幼稚園 所在地 千葉県松戸市岩瀬字向山550番地 園長 川並 珠緒
聖徳大学附属第二幼稚園 所在地 千葉県松戸市小金原七丁目14番地 園長 川並 知子
聖徳大学附属第三幼稚園 所在地 千葉県成田市中台三丁目8番地 園長 川並 知子
聖徳大学附属浦安幼稚園 所在地 千葉県浦安市日の出五丁目4番2号 園長 川並 知子
聖徳学園三田幼稚園 所在地 東京都港区三田三丁目4番28号 園長 川並 妙子
聖徳学園八王子中央幼稚園 所在地 東京都八王子市栲田町1003番地 園長 川並 妙子
聖徳学園多摩中央幼稚園 所在地 東京都八王子市鹿島1番地 園長 川並 妙子

## 4. 入学定員、収容定員及び修業年限

(平成23年度)

## 聖徳大学

学部	学科	入学定員(編入)	収容定員	修業年限
児童学部	児童学科(昼間主コース)	500名(20名)	2,240名	4年
	〃(夜間主コース)	10名(5名)	70名	
人文学部	社会福祉学科	80名(5名)	370名	
	心理学科	60名(2名)	324名	
	生涯教育文化学科	10名	80名	
	女性キャリア学科	15名(3名)	116名	
	英米文化学科	20名	120名	
	日本文化学科	50名(3名)	206名	
人間栄養学部	人間栄養学科	200名(20名)	400名	
音楽学部	演奏学科	45名(3名)	196名	
	音楽総合学科	30名(2名)	164名	

## (通信教育課程)

学部	学科	入学定員(編入)	収容定員	修業年限
児童学部	児童学科	400名(50名)	1,700名	4年
人文学部	社会福祉学科	200名(50名)	900名	
	心理学科	100名(150名)	700名	
	英米文化学科	100名(20名)	440名	
	日本文化学科	100名(20名)	440名	

## 教職大学院

研究科	専攻	入学定員	収容定員	修業年限
教職研究科	教職実践専攻(専門職学位課程)	30名	60名	2年

## 大学院

## (博士前期課程)

研究科	専攻	入学定員	収容定員	修業年限
児童学研究科	児童学専攻	50名	100名	2年
	〃(通信教育課程)	100名	200名	
臨床心理学研究科	臨床心理学専攻	30名	60名	
言語文化研究科	英米文化専攻	6名	12名	
	日本文化専攻	6名	12名	
人間栄養学研究科	人間栄養学専攻	10名	20名	
音楽文化研究科	音楽表現専攻	5名	10名	
	音楽教育専攻	5名	10名	

## (博士後期課程)

児童学研究科	児童学専攻	5名	15名	3年
	〃(通信教育課程)	5名	15名	
臨床心理学研究科	臨床心理学専攻	5名	15名	
言語文化研究科	英米文化専攻	3名	9名	
	日本文化専攻	3名	9名	
人間栄養学研究科	人間栄養学専攻	3名	9名	
音楽文化研究科	音楽専攻	5名	15名	

### 聖徳大学短期大学部

学科・専攻	入学定員	収容定員	修業年限
保育科第一部	350名	700名	2年
保育科（通信教育課程）	500名	1,500名	3年
保育科第二部	50名	150名	3年
総合文化学科	140名	280名	2年

### 専攻科

学科・専攻	入学定員	収容定員	修業年限
保育専攻（昼間主コース）	30名	60名	2年
保育専攻（夜間主コース）	15名	30名	2年
保育専攻（通信教育課程）	50名	100名	2年
介護福祉専攻	25名	25名	1年
医療保育専攻	20名	20名	1年
服飾文化専攻	10名	20名	2年

## 5. 入学者、在学者数

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

## 聖徳大学

学部・学科等			入学者数	編入学者数	在学者数
児童学部	児童学科	(昼間主)	619 名	16 名	1,802 名
		(夜間主)	9 名	1 名	41 名
人文学部	児童学科	(昼間主)	— 名	— 名	45 名
		(夜間主)	— 名	— 名	2 名
	社会福祉学科	(昼間主)	84 名	5 名	280 名
		(夜間主)	— 名	— 名	11 名
	心理学科	(昼間主)	46 名	2 名	169 名
		(夜間主)	— 名	— 名	5 名
	臨床心理学科	(昼間主)	— 名	— 名	1 名
	生涯教育文化学科		1 名	0 名	52 名
	女性キャリア学科		10 名	0 名	47 名
	現代ビジネス学科		— 名	— 名	2 名
	外国語学科		— 名	— 名	10 名
	英米文化学科		19 名	0 名	43 名
	日本文化学科		65 名	6 名	210 名
	人間栄養学科		— 名	6 名	283 名
	生活文化学科		— 名	— 名	1 名
音楽文化学科		— 名	— 名	1 名	
人間栄養学部	人間栄養学科		244 名	— 名	460 名
音楽学部	演奏学科		22 名	1 名	119 名
	音楽総合学科		50 名	1 名	126 名

## (通信教育課程)

児童学部	児童学科	4 月生	16 名	80 名	779 名
		10 月生	10 名	111 名	
人文学部	児童学科	—	— 名	— 名	172 名
		社会福祉学科	4 月生	31 名	98 名
	10 月生		37 名	86 名	
	心理学科	4 月生	42 名	57 名	979 名
		10 月生	34 名	49 名	
	英米文化学科	4 月生	6 名	29 名	327 名
		10 月生	7 名	19 名	
	日本文化学科	4 月生	11 名	26 名	337 名
10 月生		6 名	26 名		

専門職大学院

研究科・専攻		入学者数	在学者数
教職研究科	教職実践専攻	9名	23名

大学院

研究科・専攻等		入学者数	在学者数
---------	--	------	------

(博士前期課程)

児童学研究科	児童学専攻		11名	23名
	児童学専攻通信課程	4月生	12名	81名
		10月生	7名	
臨床心理学研究科	臨床心理学専攻		17名	38名
言語文化研究科	日本文化専攻		1名	3名
	英米文化専攻		0名	1名
人間栄養学研究科	人間栄養学専攻		1名	5名
音楽文化研究科	音楽表現専攻		7名	16名
	音楽教育専攻		1名	1名

(博士後期課程)

児童学研究科	児童学専攻		0名	6名
	児童学専攻通信課程	4月生	1名	6名
		10月生	0名	
臨床心理学研究科	臨床心理学専攻		0名	1名
言語文化研究科	日本文化専攻		0名	5名
言語文化研究科	英米文化専攻		0名	0名
人間栄養学研究科	人間栄養学専攻		1名	3名
音楽文化研究科	音楽専攻		1名	6名

聖徳大学短期大学部

学科		入学者数	在学者数
保育科第一部		343名	610名
保育科通信課程	4月生	115名	1,111名
	10月生	90名	
保育科第二部		31名	71名
総合文化学科		77名	165名

## 6. 役員、評議員及び教職員に関する情報

事業報告書対象年度の5月1日現在の役員、評議員数、同年度の「学校基本調査」の最新値に準じて、教職員人数を学校別に、教員と職員に区分して紹介する。

### 役員、評議員

理事	監事	評議員
9名	2名	22名

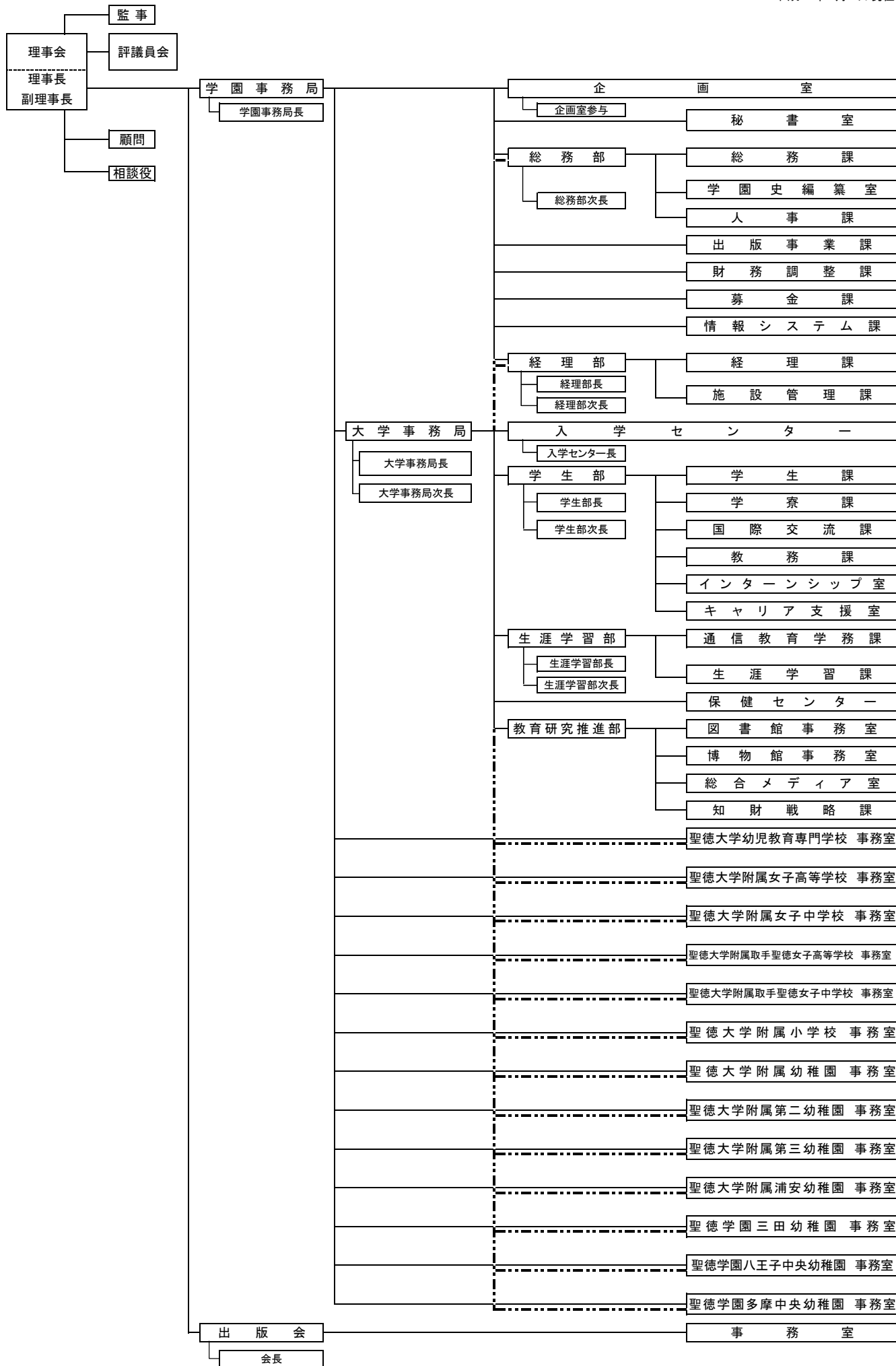
### 教職員

設置学校等	教員	職員	合計
本部	—	84名	84名
聖徳大学	272名	96名	368名
聖徳大学短期大学部	69名	27名	96名
聖徳大学幼児教育専門学校	14名	6名	20名
聖徳大学附属女子高等学校	40名	3名	43名
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	35名	3名	38名
聖徳大学附属女子中学校	17名	2名	19名
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校	15名	2名	17名
聖徳大学附属小学校	27名	3名	30名
聖徳大学附属幼稚園	15名	6名	21名
聖徳大学附属第二幼稚園	12名	2名	14名
聖徳大学附属第三幼稚園	8名	1名	9名
聖徳大学附属浦安幼稚園	11名	1名	12名
聖徳学園三田幼稚園	12名	9名	21名
聖徳学園八王子中央幼稚園	6名	4名	10名
聖徳学園多摩中央幼稚園	11名	2名	13名
計	564名	251名	815名



(2) 事務部門

平成23年4月1日現在



## II. 事業の概要

### 1. 学校等の設置と再編

#### (1) 聖徳大学

##### ① 教職研究科教職実践専攻（教職大学院）の定員変更

聖徳大学は、大学院教職研究科教職実践専攻の入学定員が充足されていない現状について、内部進学者の確保や教育委員会との連携強化、積極的なPR活動を行うなど必要な改善を図り、学生の確保に努めてきたが、この制度が創設間もなく、特色が十分理解されていないことや優遇措置などの対応等が充実していないこともあり、入学定員の充足には至っていなかった。この実態に照らし、入学定員の適正化を図るため、平成24年度から次の定員として、文部科学省へ定員変更の届出を行った。

教職実践専攻（幼児教育コース、児童教育コース） 定員

	新 ←	旧
入学定員	<u>15名</u>	<u>30名</u>
収容定員	<u>30名</u>	<u>60名</u>

##### ② 平成24年度「心理・福祉学部」設置

聖徳大学は、今日の子どもや家庭、高齢者の抱える様々な心理的・社会的諸問題が表出している実態を鑑み、これらの問題に対応し解決する専門的学識と技能を備えた人材の養成を喫緊の課題と捉え、人文学部社会福祉学科及び心理学科（通信教育を含む。）を人文学部から発展的に分離・統合し、新たな構想の下に平成24年度から次のとおり「心理・福祉学部」として設置するため、文部科学省へ学部設置の届出を行った。

心理・福祉学部 構成

新 ←				旧			
学部・学科名	入学定員	編入学定員	収容定員	学部・学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
【通学課程】				【通学課程】			
<b>心理・福祉学部</b>	<u>140</u>	<u>7</u>	<u>574</u>	人文学部	<u>235</u>	<u>13</u>	<u>966</u>
心理学科	60	2	244	社会福祉学科	80	5	330
<b>臨床心理コース</b>				社会福祉コース			
<b>家族心理コース</b>				介護福祉コース			
<b>社会心理コース</b>				養護教諭コース			
社会福祉学科	80	5	330	心理学科	60	2	244
社会福祉コース							
介護福祉コース							
養護教諭コース							
人文学部	<u>95</u>	<u>6</u>	<u>392</u>	生涯教育文化学科	10	0	40
生涯教育文化学科	10	0	40	女性キャリア学科	15	3	66
女性キャリア学科	15	3	66	英米文化学科	20	0	80
英米文化学科	20	0	80				

新 ←				旧			
学部・学科名	入学定員	編入学定員	収容定員	学部・学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
日本文化学科 日本語・日本文学コース 歴史文化コース 書道文化コース 図書館情報コース	50	3	206	日本文化学科 日本語・日本文学コース 歴史文化コース 書道文化コース 図書館情報コース	50	3	206
<b>【通信教育課程】</b>				<b>【通信教育課程】</b>			
<b>心理・福祉学部</b>	<b>300</b>	<b>200</b>	<b>1,600</b>	人文学部	<b>500</b>	<b>240</b>	<b>2,480</b>
心理学科	100	150	700	社会福祉学科	200	50	900
<b>臨床心理コース</b>				社会福祉コース			
<b>家族心理コース</b>				精神保健福祉コース			
<b>社会心理コース</b>				養護教諭コース			
社会福祉学科	200	50	900	心理学科	100	150	700
社会福祉コース				<b>臨床心理学コース</b>			
精神保健福祉コース				<b>ポジティブ心理学コース</b>			
養護教諭コース							
人文学部	<b>200</b>	<b>40</b>	<b>880</b>	英米文化学科	100	20	440
英米文化学科	100	20	440	日本文化学科	100	20	440
日本文化学科	100	20	440				

#### 心理・福祉学部の学生募集の状況

学部・学科名	平成 24 年度	平成 23 年度
<b>【通学課程】</b>		
心理・福祉学部	165	130
心理学科	70	46
社会福祉学科	95	84
社会福祉コース	21	17
介護福祉コース	11	9
養護教諭コース	63	58
<b>【通信教育課程】</b>		
心理・福祉学部	58	73
心理学科	27	42
社会福祉学科	31	31

#### ③ 平成 24 年度「音楽学部」のコース・教育課程の変更

聖徳大学は、平成 24 年度から音楽学部演奏学科及び音楽総合学科を次のとおりコースの再構成を行い、教育課程の充実を図るため、文部科学省へ学則の変更を届け出た。

音楽学部 構成

新				旧			
学部・学科名	入学定員	編入学定員	収容定員	学部・学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
音楽学部 演奏学科	75 45	5 3	310 186	音楽学部 演奏学科	75 45	5 3	310 186
作曲コース 声乐・オペラコース 器楽コース ミュージカルコース				声乐コース 器楽コース 舞台総合表現コース			
音楽総合学科 音楽教員養成コース 音楽療法コース 音楽指導コース	30	2	124	音楽総合学科 音楽教員養成コース 音楽療法コース 作曲・音楽研究コース	30	2	124

2. 教育・研究等に関する計画に関すること

(1) 聖徳大学

○ 認証評価機関による第三者評価

聖徳大学は、独立行政法人大学評価・学位授与機構の評価を受け、機構の基準に適合していると認定された。

また、財団法人大学基準協会の再評価を受け、協会の基準に適合していると認定された。

(2) 聖徳大学附属女子中学校・高等学校

○ 平成25年度「高等学校新学習指導要領」への対応

聖徳大学附属女子高等学校は、「高等学校新学習指導要領」への対応を行うとともに、教育課程を見直し、千葉県へ学則の変更を届け出た。

(3) 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

① 平成25年度「高等学校新学習指導要領」への対応

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校は、「高等学校新学習指導要領」への対応を含む平成25年度生以降の新教育課程の検討を行っており、平成24年度に茨城県へ学則変更の届出を行う予定で進めている。検討の過程で、平成24年度生（新学習指導要領の移行期間）の教育課程について、大学入試科目の変更へ対応させるための見直しを行い、茨城県へ学則の変更を届け出た。

② 平成25年度教育課程特例校指定変更申請

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校は、特別な教育課程「女性キャリア」の計画を推し進めるとともに、教育課程特例校指定変更申請の準備を進めている。高等学校の平成25年度生以降の教育課程を確定させ、平成24年度に文部科学省へ変更申請を行う予定で進めている。

### 3. その他

#### (1) 法人

##### ○ 東京聖徳学園創立75周年記念事業募金（継続）

本学園は、東京聖徳学園創立75周年記念事業募金を平成20年9月から開始し、①施設設備の充実、②環境事業の推進、③奨学基金の設置を目的として募集を継続している。

#### (2) 聖徳大学・聖徳大学短期大学部

##### ○ 陸上競技部の整備

聖徳大学・聖徳大学短期大学部は、陸上競技部を4月1日に設立し、人材の確保、指導環境の整備、選手・主務の教育、選手の強化等を行った。

#### (3) 聖徳大学附属第二幼稚園

##### ○ 創立40周年記念事業の実施

聖徳大学附属第二幼稚園は、5月28日に創立40周年記念式典を挙行了た。

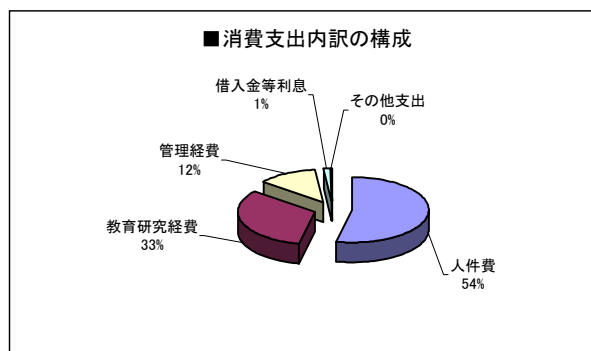
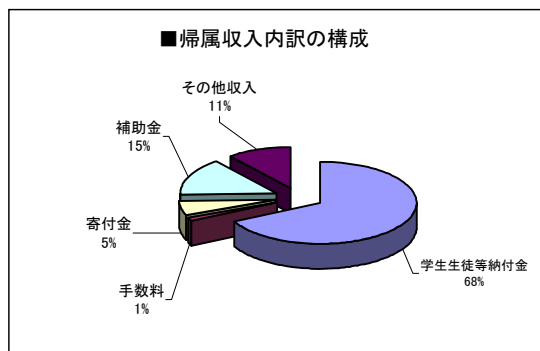
### Ⅲ. 財務の概要

平成23年度の決算の状況について消費収支計算書にもとづいて、その概要を報告いたします。

帰属収入においては、大学を中心に入学者数が増加したことにより、学生生徒等納付金が 9,572百万円となり、前年度を上回りました。また、補助金は東日本大震災に係る災害復旧事業補助金等の国庫補助金が増加しており、帰属収入は 14,155百万円となりました。消費収入は、施設設備等に係る基本金 1,520百万円を組入れ、12,635百万円となりました。支出の部においては、人件費の減少(平成22年度は退職給与引当金の計上を期末支給額の100%へ変更したことにより通年と比較して増加)に加え、学生募集経費を中心とした管理経費の削減等により、消費支出は 14,113百万円にとどまり、消費収支差額は ▲ 1,478百万円となりました。

#### 《消費収支計算書》

			単位:百万円		
		平成23年度	平成22年度		
		平成23年度	平成22年度	平成23年度	平成22年度
学生生徒等納付金		9,572	9,236	人件費	7,538
手数料		197	198	教育研究経費	4,586
寄付金		757	202	管理経費	1,755
補助金		2,099	2,057	借入金等利息	211
その他収入		1,530	922	その他支出	23
<b>帰属収入</b>		<b>14,155</b>	<b>12,615</b>	<b>消費支出</b>	<b>14,113</b>
基本金組入額		▲ 1,520	▲ 1,147		
<b>消費収入</b>		<b>12,635</b>	<b>11,468</b>	<b>消費収支差額</b>	<b>▲ 1,478</b>
					<b>▲ 4,153</b>



#### 《貸借対照表》

			単位:百万円		
		平成23年度	平成22年度		
		平成23年度	平成22年度	平成23年度	平成22年度
固定資産		87,121	88,752	固定負債	12,261
有形固定資産		85,696	87,147	流動負債	5,741
その他固定資産		1,425	1,605	<b>負債の部合計</b>	<b>18,002</b>
流動資産		8,245	7,807	<b>基本金の部合計</b>	<b>110,485</b>
				<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>▲ 33,121</b>
<b>資産の部合計</b>		<b>95,366</b>	<b>96,559</b>	<b>負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計</b>	<b>95,366</b>
					<b>96,559</b>

#### 《資金収支計算書》

			単位:百万円		
		平成23年度	平成22年度		
		平成23年度	平成22年度	平成23年度	平成22年度
学生生徒等納付金収入		9,572	9,236	人件費支出	7,636
手数料収入		197	198	教育研究経費支出	2,807
寄付金収入		717	195	管理経費支出	1,446
補助金収入		2,099	2,057	借入金等利息支出	211
借入金等収入		0	0	借入金等返済支出	928
前受金収入		2,937	2,763	施設設備関係支出	735
その他収入		5,406	5,010	その他支出	4,911
資金収入調整勘定		▲ 3,277	▲ 2,888	資金支出調整勘定	▲ 1,122
前年度繰越支払資金		7,484	8,148	次年度繰越支払資金	7,583
<b>収入の部合計</b>		<b>25,135</b>	<b>24,719</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>25,135</b>
					<b>24,719</b>

資 金 収 支 計 算 書

平成 23年 4月 1日から  
平成 24年 3月31日まで

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	9,477,000,000	9,571,852,376	△ 94,852,376
手数料収入	199,000,000	197,048,040	1,951,960
寄付金収入	153,000,000	717,080,999	△ 564,080,999
補助金収入	2,091,000,000	2,099,242,272	△ 8,242,272
国庫補助金収入	1,027,800,000	1,032,137,000	△ 4,337,000
地方公共団体補助金収入	1,063,200,000	1,067,105,272	△ 3,905,272
資産運用収入	81,000,000	76,504,228	4,495,772
資産売却収入	505,500,000	510,851,000	△ 5,351,000
事業収入	637,000,000	649,639,675	△ 12,639,675
雑収入	536,000,000	643,946,868	△ 107,946,868
前受金収入	2,820,000,000	2,936,678,230	△ 116,678,230
その他の収入	3,457,034,520	3,525,308,714	△ 68,274,194
資金収入調整勘定	△ 3,083,496,950	△ 3,276,928,469	193,431,519
前年度繰越支払資金	7,483,575,587	7,483,575,587	
収入の部合計	24,356,613,157	25,134,799,520	△ 778,186,363
支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	7,545,000,000	7,636,063,421	△ 91,063,421
教育研究経費支出	2,784,000,000	2,806,862,951	△ 22,862,951
管理経費支出	1,501,000,000	1,445,984,119	55,015,881
借入金等利息支出	221,000,000	211,040,943	9,959,057
借入金等返済支出	889,000,000	928,435,023	△ 39,435,023
施設関係支出	518,000,000	409,812,300	108,187,700
設備関係支出	347,000,000	324,996,987	22,003,013
その他の支出	4,766,000,000	4,910,846,874	△ 144,846,874
[ 予 備 費 ]	(100,000,000) 0		0
資金支出調整勘定	△ 992,074,878	△ 1,121,951,044	129,876,166
次年度繰越支払資金	6,777,688,035	7,582,707,946	△ 805,019,911
支出の部合計	24,356,613,157	25,134,799,520	△ 778,186,363

消 費 収 支 計 算 書

平成 23年 4月 1日から  
平成 24年 3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	9,477,000,000	9,571,852,376	△ 94,852,376
手 数 料	199,000,000	197,048,040	1,951,960
寄 付 金	158,000,000	757,396,287	△ 599,396,287
補 助 金	2,091,000,000	2,099,242,272	△ 8,242,272
国 庫 補 助 金	1,027,800,000	1,032,137,000	△ 4,337,000
地 方 公 共 団 体 補 助 金	1,063,200,000	1,067,105,272	△ 3,905,272
資 産 運 用 収 入	81,000,000	76,504,228	4,495,772
資 産 売 却 差 額	205,000,000	213,953,079	△ 8,953,079
事 業 収 入	637,000,000	649,458,681	△ 12,458,681
雑 収 入	496,000,000	590,031,752	△ 94,031,752
帰 属 収 入 合 計	13,344,000,000	14,155,486,715	△ 811,486,715
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 1,484,000,000	△ 1,520,368,693	36,368,693
消 費 収 入 の 部 合 計	11,860,000,000	12,635,118,022	△ 775,118,022
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	7,523,000,000	7,538,068,485	△ 15,068,485
教 育 研 究 経 費	4,513,000,000	4,586,133,750	△ 73,133,750
管 理 経 費	1,809,000,000	1,754,931,739	54,068,261
借 入 金 等 利 息	221,000,000	211,040,943	9,959,057
資 産 処 分 差 額	66,000,000	21,431,536	44,568,464
徴 収 不 能 引 当 金 等	2,000,000	1,288,700	711,300
[ 予 備 費 ]	(100,000,000) 0		0
消 費 支 出 の 部 合 計	14,134,000,000	14,112,895,153	21,104,847
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	2,274,000,000	1,477,777,131	
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	31,643,042,117	31,643,042,117	
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	33,917,042,117	33,120,819,248	

貸 借 対 照 表

平成 24年 3月31日

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	87,120,589,290	88,752,251,417	△ 1,631,662,127
有 形 固 定 資 産	85,696,143,296	87,147,210,509	△ 1,451,067,213
土 地	30,537,332,527	30,537,332,527	0
建 物	39,863,807,837	41,076,898,041	△ 1,213,090,204
その他の有形固定資産	15,295,002,932	15,532,979,941	△ 237,977,009
その他の固定資産	1,424,445,994	1,605,040,908	△ 180,594,914
流 動 資 産	8,245,038,223	7,806,461,895	438,576,328
現 金 預 金	7,582,707,946	7,483,575,587	99,132,359
その他の流動資産	662,330,277	322,886,308	339,443,969
資 産 の 部 合 計	95,365,627,513	96,558,713,312	△ 1,193,085,799

負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	12,261,242,627	13,287,157,470	△ 1,025,914,843
長 期 借 入 金	10,339,310,000	11,321,145,023	△ 981,835,023
その他の固定負債	1,921,932,627	1,966,012,447	△ 44,079,820
流 動 負 債	5,740,485,480	5,950,247,998	△ 209,762,518
短 期 借 入 金	942,570,000	889,170,000	53,400,000
その他の流動負債	4,797,915,480	5,061,077,998	△ 263,162,518
負 債 の 部 合 計	18,001,728,107	19,237,405,468	△ 1,235,677,361

基 本 金 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第 1 号 基 本 金	109,165,168,654	107,644,799,961	1,520,368,693
第 3 号 基 本 金	257,550,000	257,550,000	0
第 4 号 基 本 金	1,062,000,000	1,062,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	110,484,718,654	108,964,349,961	1,520,368,693

消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	33,120,819,248	31,643,042,117	1,477,777,131
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 33,120,819,248	△ 31,643,042,117	△ 1,477,777,131

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部 合 計	95,365,627,513	96,558,713,312	△ 1,193,085,799

財 産 目 録

I 資産総額	95,365,627,513	円
内 基本財産	85,833,579,091	円
運用財産	9,532,048,422	円
II 負債総額	18,001,728,107	円
III 正味財産	77,363,899,406	円

区 分	金 額
一 資産額	
(一) 基本財産	
1 土地	345,245.08 m <sup>2</sup> 30,537,332,527 円
2 建物	222,889.19 m <sup>2</sup> 39,863,807,837 円
3 図書	622,794 冊 8,835,866,089 円
4 教具・校具・備品	180,785 点 5,929,558,390 円
5 その他	667,014,248 円
(二) 運用財産	
1 預金、現金	7,582,707,946 円
2 その他	1,949,340,476 円
資 産 総 額	95,365,627,513 円
二 負債額	
1 固定負債	
(1) 長期借入金	10,339,310,000 円
(2) その他	1,921,932,627 円
2 流動負債	
(1) 短期借入金	942,570,000 円
(2) その他	4,797,915,480 円
負 債 総 額	18,001,728,107 円
正味財産(資産総額－負債総額)	77,363,899,406 円

# 監 査 報 告 書

平成 24 年 5 月 17 日

学校法人東京聖徳学園

理 事 会 御 中

学校法人東京聖徳学園

監 事

山口 昌 穂 

監 事

末廣 敬 邦 

私たちは、学校法人東京聖徳学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同  
学園の平成 23 年度(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)における財産目録  
及び計算書類(資金収支、消費収支、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業  
務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を  
聴取し、重要な決済書類等を閲覧するなど必要と思われる監査を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録  
及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、  
学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事  
実はないものと認めました。

以 上

平成 23 年度

# 参考情報

## 学校法人会計の特徴

学校法人は、学校を運営し、教育・研究活動を遂行することで、人材を育成するとともに研究活動を社会に還元することが目的であり、企業のように営利を目的とすることはできません。したがって学校会計は、教育研究活動が円滑に遂行されたか否かを計算書類によって財務面から知ることができのに対し、企業会計は、営業成績を損益計算書で表わし、当該年度の収支を明確化し、収益力を高めることに役立てようとするものです。

国または地方公共団体から補助金の交付を受ける学校法人は、「学校法人会計基準」に従い会計処理を行い、①資金収支計算書、②消費収支計算書、③貸借対照表の各計算書類の作成が義務付けられています。

①資金収支計算書は、当該会計年度における全ての資金の動きを記録することによって、収入と支出の内容を明らかにし、支払資金のてん末を表わすものであり、企業が作成するキャッシュ・フロー計算書に類似した計算書類です。

②消費収支計算書は、当該会計年度の消費収支を明らかにし、消費収入と消費支出の均衡の状態を確認するものであり、企業が作成する損益計算書に類似した計算書類です。なお、消費収入とは、法人に帰属する負債にならない収入であり、消費支出とは、資産・借入金の返済・積立金など資本的支出に充てる額を除いた支出です。

③貸借対照表は、当該年度末における資産・負債・基本金・消費収支差額を把握し、学校法人の財政状況を表わすものであり、企業が作成する貸借対照表の様式に類似した計算書類です。